

安心感地域NO.1を目指します

# かけはし

10月号

SNSやっています!



Facebook



instagram



LINE



特集!

実りの秋到来!

## 稲刈り体験



# 実りの秋到来！ 稲刈り体験

いしかわ田んぼの学校推進プロジェクト事業  
+  
支店行動計画



## 9/16 邑知小学校

田んぼの学校推進プロジェクト  
田んぼ指導：濱田 栄治さん

邑知小学校の5年生17人は9月16日、学校近くの田んぼで稲刈りを行いました。5月末に田植え体験を行っており、およそ10アールで早生品種「つきあかり」を収穫しました。稲刈りは、鎌を使った昔ながらの手作業で行われました。児童らは、田んぼを提供した農事組合法人アグリスターオナガの濱田栄治さん指導の下、慣れない手つきで黄金色に実った稲を刈り取りました。濱田さんは「稲刈りを体験することで、お米の大切さを知り、残さず食べてほしい」と話しました。

参加した児童は「難しかったけどコツをつかめた。集中すると、どんどん早くなった」「手で刈り取る大変さが分かった。お米は貴重だと感じたのでこれからは大切に食べたい」と感想を話しました。収穫したお米は、濱田さんらを招き、学校行事である収穫祭でカレーライスを作る予定です。



いっぱい収穫しましたよ！

## 9/18 粟ノ保小学校 秋野菜苗植え

## 9/18 志雄小学校



羽昨支店が秋野菜の苗を提供し、1～4年生が苗植えをしました。

田んぼの学校推進プロジェクト  
田んぼ指導：池田 俊雄さん



9/27

# 西北台小学校



羽咋支店協力  
田んぼ指導：松田 久さん

9/18

# こすもす保育園

8/31

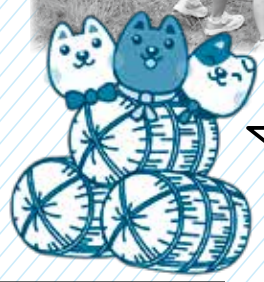
# とき保育園



羽咋支店協力  
田んぼ指導：渡 勝己さん



羽咋支店協力  
田んぼ指導：長瀬 明さん



みんな稲刈りの  
コツをつかんだ  
みたい！

## バケツ稲



西北台保育所



余喜保育所

の時期を迎えました！  
JA女性部から春に贈られた  
「バケツ稲つくりセット」が収穫





## 献

### 穀田で御抜穂式 黄金色に輝く新米収穫

稲穂を収穫する刈乙女たち(宝達志水町宿)



11月下旬に行われる宮中行事「新嘗祭」に献上される米を刈り取る御抜穂式が9月16日、宝達志水町宿の岡野茂さんの献穀田で行われました。33アールの献穀田で相見小学校の3、6年生の児童ら6人が刈乙女姿で一列に並び、黄金色に実った「コシヒカリ」を収穫しました。

岡野さんは「今年は、豊作で出来が良い。立派な献上米を収穫できたことは喜ばしい」と話しました。岡野さん夫妻は10月下旬に皇居で行われる献穀献納式に出席する予定です。御抜穂式で、JAはくいの山本好和組合長は「地元の農業にとっても誠に誇らしい」と祝辞を述べました。

## 宝 浪漫マラソン 特産でランナー応援



黒イチジクを手取るランナーたち(宝達志水町)

宝達志水町で9月24日、「宝浪漫マラソン2022」が3年ぶりに開催されました。能登半島最高峰の宝達山や千里浜なぎさドライブウェイなど風光明媚なコースを、県内外から参加した1184人が駆け抜けました。コース途中に設けられたエイドステーションでは、高級品種の黒イチジク「ビオレソリエス」や「シャインマスカット」、宝達くず湯などを用意。ランナーたちは「イチジクだ。やったー」「美味しい」と写真を撮って喜びました。JAはくい宝達支店の職員もボランティアとして参加し、ランナーを応援しました。

## 自 羽咋市内の小中学校 自然栽培を学校給食に



自然栽培米を頼る児童(瑞穂小学校)

羽咋市とJAはくいのと里山自然栽培部会は9月28日、羽咋市内の全小中学校の給食で、無肥料・無農薬で作られた自然栽培米と野菜を提供しました。

この日の献立は、同部会員らが栽培したコシヒカリやピーマン、ナス、ズッキーニを使った「ミートソース焼き」。児童は「いつもよりももちもち感があって美味しく感じた。つやつやして輝いていた」と話しました。

自然栽培の野菜の提供を今年度は2回に増やす計画で、次回は11月に提供を行う予定です。



# 押

## 水花木部会意見交換会

質問を投げかける部会員(宮農センター)



J Aはくい押水花木部会は9月21日、市場との意見交換会を宮農センターで行いました。金沢や大阪、京都から計4市場が訪れ、部会員ら15人が参加しました。

同部会の池本直彦部会長は「今後の栽培に1つでも影響を与えられる有益な時間になりたい」とあいさつをし、各市場と部会員が意見を出し合い、出荷方法や出荷規格について確認しました。

池本部会長が「ニーズとのマッチングをしたら、まだまだ売れるものがあるのではないか」と質問し、なにわ花市場(大阪)は「今まで売らなかつたものを売る取り組みをしていきたい」と潜在的ニーズの掘り起こしに意欲を見せました。今後は、消費者ニーズを捉えたものを栽培、出荷をしていく方針です。

宝達志水町の特産でもある「サンゴミズキ」の早生品種「押水レッド」が9月22日に収穫の最盛期を迎えました。10月中旬からは、中生品種の「はくいレッド」が出荷予定です。同部会では、約10人が生産をしていて、全国トップクラスの生産地です。

# 秋

## 冬だいこん現地検討会



生育状況について確認している様子(羽咋市粟生町)

秋冬だいこんの現地検討会が9月15日、羽咋市粟生町の圃場で行われました。全農石川や羽咋農林、中央普及支援センター、J Aグループ宮農戦略室などの8名が2か所の圃場を巡回しました。

今回は、砂地の圃場で遅時きの試験を行い、生育状況を確認。品種や天候によってバラツキがあるものの、生育状況は概ね順調となりました。10月上旬に出荷を見込んでいます。

# 旧

## 邑知支店を活用し、消防訓練



窓を割り救出に向かう消防隊員(旧邑知支店)

羽咋消防署は9月5日、解体予定であるJ Aはくい旧邑知支店を使用して火災の消防訓練を行い、消防隊員約20名が参加しました。本番さながらの環境で、通報から救助までの一連の流れを確認しました。

訓練では火災が発生し、上階に逃げ遅れた人がいる想定をしたもの。消防隊員は、ガラス窓の破壊やはしごを用いたベランダからの負傷者救助、声を出しての状況・連携確認などを行いました。

旧邑知支店は10月中に解体を終える予定です。





## イチジクの圃場を見学



イチジクを収穫する児童(宝達志水町冬野)

宝達志水町立押水第一小学校の3年生12人が9月13日、学校付近のイチジク畑を見学し、収穫を体験しました。見学は5年前から授業に取り入れており、総合的な学習の時間に、町の特産であるイチジクを調べて地域や農業への理解を深めることを目的としています。

この日は、JAはくい押水いちじく部会の中泉弘さんの圃場を見学。羽昨農林事務所の普及員を講師に招き、イチジクの特徴や栽培、収穫方法について説明しました。

児童らは、イチジクを収穫する際に出る樹液に驚きながら収穫を楽しみ「選ぶのに迷ったけど、楽しかった。イチジクは初めて食べるので、家族と一緒に食べたい」と嬉しそうに話しました。

## 邑知中学校



## 総合学習で特産品を学ぶ



羽昨の特産について学ぶ生徒ら(JAはくい本店)

羽昨市立邑知中学校の1年生4人が9月8日、総合学習の一環でJAはくい本店を訪れ、能登すいかと自然栽培米について学びました。

能登すいかの特徴や歴史、自然栽培米と普段食べるお米の違いなどを粟木政明経済部次長が説明しました。生徒が「自然栽培米が作られるようになったのはなぜか」と質問し、粟木経済部次長は「木村秋則さんを羽昨市に呼んで、習ったことがきっかけ。県外からも学びたいという方が来るようになり、生産者が増えました」と答えました。



## 好調WにてイチジクをPR



イチジクの種類を紹介する宮本さん(宝達志水町上田)

MROが毎週水曜日19時から放送している「絶好調W」の「石川に会いたい」の番組コーナーで、JAはくい押水いちじく部会の宮本憲さんが9月29日、取材を受けました。農林水産省が行っている国民運動「ニッポンフードシフト」と連携して農産物のPR活動を行うものです。

宮本さんが経営する農産物の生産・販売を行う株式会社「宝正果」と宝達志水町、同部会が協力して、取材に応じました。宮本さんの他にも、部会員ら2名がイチジクの美味しいレシピを紹介しました。

番組は10月19日に放送予定で、18分間放送されます。





秋野菜の播種を体験する参加者  
(羽咋市中川町)

## JA援農支援隊 自然栽培を体験

農協観光主催の過疎化、高齢化による人手不足の作業支援や援農マッチングを行う「JA援農支援隊」が、羽咋市とJAはくいが運営する「のと里山農業塾」の研修農場を訪れ、自然栽培の農作業を体験しました。東京や福島などの県外から農林中央金庫の職員11名が参加しました。

富山県氷見市の自然栽培農家・廣和仁さんと同JAで「のと里山農業塾」の運営に携わる粟木政明経済部次長が指導を行い、スイカとメロンの収穫やカブ、小松菜など6種類の秋野菜の播種などを行いました。

参加した長友千紘さんは「通常業務では農業に触れ合う機会が少ない。実際に体験することで農家さんに少しでも寄り添いたい」と話しました。作業後は、収穫したメロンやスイカを味わいました。

## 令和5年産に向けて 麦栽培講習会実施



大麦栽培の講習を受ける参加者(JAはくい低温倉庫)

大麦の令和4年産の反省と令和5年産の栽培を適切な方法で行うことを呼び掛ける目的で、能登南部営農推進協議会は9月28日に、JAはくい低温倉庫で大麦栽培講習会を行いました。

同協議会はJAはくい、JA志賀、JA能登わかばの3JAで構成。中能登農林総合事務所の職員を講師に招き、計20名が参加しました。JAはくいでは、大麦の生産者と面積ともに担い手青年部を中心に増加傾向にあることから、新規生産者に向けた講習にもなっています。

同講習会は、JAはくいの地域農業戦略の基本目標の実施項目でもある2年3作の取り組みの一つとなっています。

## 生きもの調査で里山里海を学ぶ



捕まえた生きものを確認する児童  
(羽咋市粟生町)

羽咋市立粟ノ保小学校の5、6年生18人が9月30日、粟生町の用水路で生きもの調査を行いました。G・H・A・S（ジ・アス世界農業遺産）に認定された「能登の里山里海」の多面的な役割を学ぶ目的。邑知潟水土里ネットワークや地元町会、JAはくいなどが協力しました。

児童らは、網を片手に用水路に入り、フナなどの魚やエビ、カニなど約20種類の生きものを確認。採集後、水土里ネットいしかわの石黒徳広さんが解説し、「水田の周辺に生きものが住めるのは、人間にも良い環境。おいしいお米を作ることもつながることを学んでほしい」と話しました。

児童は「知らなかった生きものを知れた。みんなで協力して魚を捕まえた」と喜びました。



2022  
JAはくい

秋の収穫感謝祭

# 第16回農産物品評会 出品者募集

あなたの自慢の農産物を出品してみませんか？賞及び参加賞をご用意しております。ぜひ、ご応募ください！

**日時** **10月22日(土)** 9:00～16:00  
**10月23日(日)** 9:00～15:30

**場所** **JAはくい 本店**  
(羽咋市太田町と105番地 ☎26-3333)

※出品物は品評会会場にて23日(日)に入札を行い、売上金は福祉機関へ寄付いたします。

【お問合せ・お申込み】  
園芸課 ☎29-3155

【出品方法】

- 参加申込期限：令和4年10月18日(火)まで
- 持込可能日：令和4年10月20日(木)～21日(金) 午前9時～午後5時まで
- 持込場所：営農センター（宝達志水町子浦ろ2番地）

区分	数量	適要
玄米	300g	コシヒカリ・ゆめみづほ
雑穀類	2合	大豆・小豆・芋類
野菜類	3本	大根・白菜・牛蒡・葱・馬鈴薯
果樹類	5個	柿・りんご・いちじく
花卉・花木	5本	切花・切枝
菌茸類	5個	椎茸

## 農業用廃プラスチック類収集及び不要農薬回収のご案内

野焼きや不法投棄は法律で罰せられますので、正しい処理で清潔な環境を保つために、JAが収集(回収)処理します。  
申込書記入の上、下記収集場所にご持参下さい。

収集(回収日時)：11月1日(火) 午前8時～正午

『農業用廃プラスチック類』

収集場所：カントリーエレベーター前(羽咋市深江町15)  
処理料金：85円/kg (最低基本料金425円) ※税込参考料金  
☆育苗箱の処分を予定される方は事前に箱数を連絡して下さい。

『不要農薬回収』

回収場所：北部育苗センター (JAはくいカントリーエレベーター横)  
処理料金：一般農薬 550円/kg くん蒸剤 3,400円/kg  
不明農薬 800円/kg ※税込参考料金  
☆水銀剤は対応できません。

- ※当日は印鑑をご持参下さい。
- ※処理料金は後日請求させていただきます。
- ※収集・回収の詳細兼申込書は、本店経済課・営農センター JAグリーンはくい・アグリショップ宝達

※申込締切：10月21日(金)

【お問合せ】経済課 ☎26-3339

## 年金相談会のご案内

社会保険労務士の先生が、年金の仕組みから具体的な手続き、疑問点などにお応えします。

※ご予約が必要です。

開催日	時間	会場 電話番号
11月6日 (日)	9:00～ 15:00	羽咋支店 ☎26-0008
11月13日 (日)	9:00～ 15:00	宝達支店 ☎29-3133

《持参するもの》

年金手帳、ねんきん定期便、認印

【お問合せ・お申込み】  
各支店・貯金課 ☎26-3340

## 遺言書を預けてみませんか

金沢地方法務局では、みなさまの自筆証書遺言書をお預かりしています。

法務局に遺言書を預けると、紛失、他人による改ざんなどを防ぐことができます。申請手数料は3,900円 家庭裁判所での検認も不要です。【お問合せ 金沢地方法務局供託課 ☎076-292-7846】

法務局では、相続や遺言に関する出前講座を無料で行っています。法務局職員が皆様のご都合に良い場所に伺いますので、お気軽にご利用ください。【お問合せ 金沢地方法務局総務課 ☎076-292-7810】

山羊座  
12/22～1/19

【全体運】 交友関係が活発化。新しい情報も入ってきて新展開が見えてきそう。話し合いながら進める姿勢が好環境をつくります

射手座  
11/23～12/21

【全体運】 問題は多くても、やるべきことは見えてきま。全て丸くは収まらないので取捨選択を。大切なことを優先して◎



# 10月16日は「国消国産の日」!

## 「国消国産の日」とは

JAグループが提唱する「国消国産」とは、「国民が必要として消費する食料は、できるだけその国で生産する」という考えからです。国連が定めた「世界食料デー」に合わせ、JA全中が10月16日を「国消国産の日」として制定しました。国民の皆様幅広く食料・農業への理解を深めていただき、農業の応援団になってもらえるよう、「国消国産の日」を含む10月を「国消国産月間」として定め、JAグループを挙げて様々な情報発信をすすめています。

## なぜ「国消国産」がたいせつなのでしょう?

感染症パンデミックや国際情勢の急変、気候変動、人口増加などによって、世界的に食料安全保障がクローズアップされており、先進国最低レベルの日本の食料自給率を高める必要があります。地元の農畜産物を選んで買い物をするといった、ほんの少しの行動変化が、日本の食の未来を支える「国消国産」の実現に、そして国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成にもつながると考えています。

「国消国産」をすすめるキャンペーンを展開しています!



実施期間 10/1(土) >>> 10/31(月)

★「のぼり」が目印!

全国約1,500か所のJAファーマーズマーケットで、ポスターのQRコードを読み込んでスタンプGET! 豪華プレゼントに応募できます!

STEP 01

直売所へ行こう!

STEP 02

店内ポスターのQRコードを読み込み、スタンプを貯めよう!

STEP 03

何度も訪れ、貯まったスタンプ数に応じた豪華商品を手に入れよう!

\*全国各地の直売所でスタンプを獲得出来ます。\*一部、キャンペーンを実施していない直売所もございます。\*スタンプの獲得は一人様につき1日1回まで。\*同じ直売所でもスタンプを貯めることが出来ます。\*お一人様一回でも応募可能です。

スタンプ1個

コウケンテツさんが教える! 「秋の旬食材の選び方のアドバイス」をもらってプレゼント!

スタンプ2個

コウケンテツさん考案! 「秋の旬食材レシピ」をもらってプレゼント!

■14,000名  
JAタウンクーポンコード  
(1,000円分)

¥1,000  
COUPON

スタンプ3個 \*抽選で総計1,000名様

■Aコース: 250名  
お米食べ比べセット



■Bコース: 250名  
国産和牛



■Cコース: 250名  
季節のフルーツ詰め合わせ



■Dコース: 250名  
毎日の食卓をオシャレに彩る食器



\*写真はイメージです

## たんぽぽ通信

【JAたんぽぽデイサービスセンター】

敬老会



スタッフによるマジックや踊りで、お祝いしました♡

【羽咋市デイサービスセンター】

長生き音頭



まだまだ若い! 音楽に合わせて元気に踊っています♪

手作りの栗・柿



「おいしそうや!」デイの中で秋を感じていただいています。



防災訓練

日頃の訓練が大事ですね。

大きなさつまいもが採れました!



さつまいも堀

9周年

【多機能ホームJAたんぽぽ】

3年ぶりの秋祭り



昼食には赤飯・治部煮祝い御膳を頂きました!



久保町の獅子舞をたんぽぽで披露。楽しませていただきました♪

福祉部門の職員を大募集しています!

「あなたの力」で、みんなを笑顔にしてみませんか!

『介護職』『看護師』『ケアマネージャー』

【お問い合わせ】多機能ホームJAたんぽぽ ☎29-2880



# 公式LINEで営農情報を配信中！！

現在、JAはくい公式LINEで配信登録をいただいた方に営農情報をお届けしております。是非登録をお願いいたします！

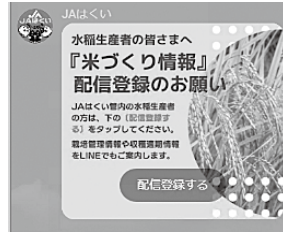
## 【登録STEP】

①QRコードから友達追加

※既にお友達の方は「配信登録」とメッセージを送信してください。



②送られてきたメッセージから「配信登録する」をタップ



お友達追加はこちらから！



JAはくい公式LINE

お得なクーポンなども配信しております！！

まだ、お友達でない方は、ぜひ、お友達追加をお願いします！！

## JAやすらぎ会館 天照 人形供養祭

10月22日(土) 午前11時開式

受付 / 10月22日(土) 午前9時～午前11時

◎会員及び会員家族の方、供養料無料

非会員の方は、供養料1,000円または、1,000円の入会金で会員になると無料



### 第6回理事会

■日時：令和4年9月27日(火)  
■場所：JAはくい本店

#### <議案>

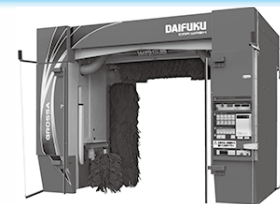
- (1) コンプライアンス・マニュアルの一部変更について
- (2) 貸出金利率等の一部変更について
- (3) 組合員の出資口数の減少について
- (4) 信用手数料徴収規程の一部変更について

#### <報告>

- (1) 組合員の加入及び脱退について
- (2) 令和4年度JA共済コンプライアンス点検結果について
- (3) 実績報告等(金融・共済部門)について
- (4) 実績報告等(営農部門)について
- (5) 実績報告等(経済部門)について
- (6) 実績報告等(福祉部門)について
- (7) 実績報告等(総務部門)について
- (8) 株JAサービス営業報告について
- (9) 株JAアプリはくい営業報告について

## 10月22日～最新型セルフ洗車機 太田SSに導入！！

抜群の洗浄力、洗いあがりを実感してみてください！！



※①パキュウムクリーナー②マット洗浄機③エアタワーも導入されます

### 編集後記

10月号をご覧いただき、ありがとうございます。前月号の送られてきたハガキに「百万石の極み」の特集について、何通かご好評のお声を頂きました。皆さんの目に留まるように、特に力を入れた特集でしたので、とても嬉しかったです！これからも皆さんのお声を聞かせていただければと思います。よろしくお願いたします！（広報：花村）



## まちがい探し

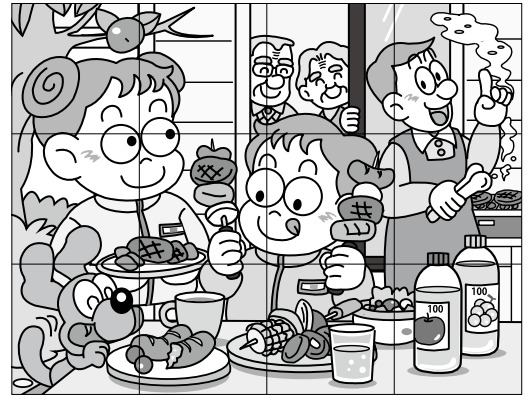
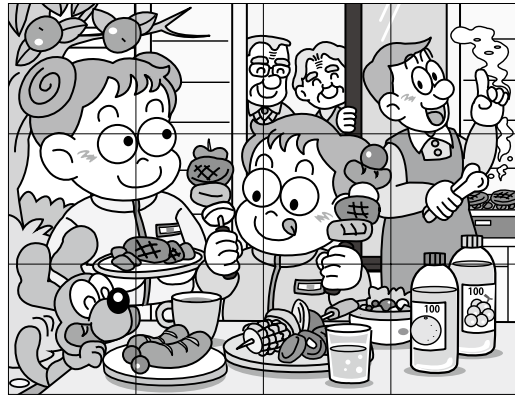
今回の賞品



みたから天女化粧水  
(抽選で5名様)

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を下のイラストの中の数字でお書きください。

見つけて  
スッキリ!



## 先月号(9月号)の答え

- 1 ... 絵が変わっている
- 3 ... 月の表情が違う
- 6 ... 串の先端の団子が減っている
- 11 ... 串が短い
- 12 ... 蜜の容器が違う

## 応募方法

ハガキに ①答え(5カ所の番号) ②住所・氏名・年齢・職業・電話番号 ③ご意見・ご感想・身近な話題などを添えてご応募下さい。

●宛 先 / 〒925-8588 羽咋市太田町と105  
JAはくい本店 広報担当

●応募締切 / 10月28日(金) 当日消印有効

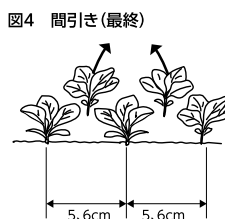
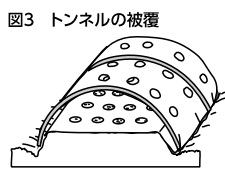
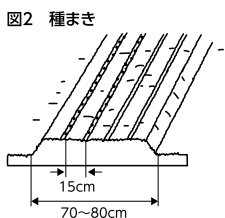
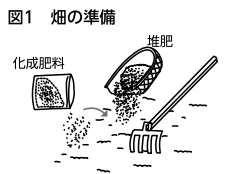
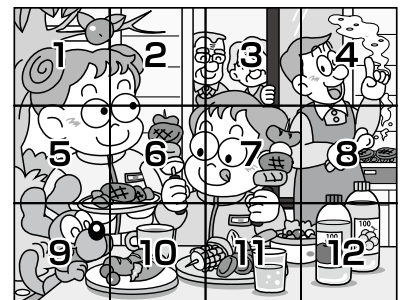
☆郵送または、最寄りの支店にご持参ください。

※ご応募いただいたお客様の情報は、抽選及び発送の目的以外には利用いたしません。

※ご意見やイラストは誌面で紹介する場合がございます。

9月号のご応募ありがとうございました。(応募34通)

長谷川 泉 様 山本 悦子 様 酒井麻佐子 様 竹津恵美子 様 小川 明子 様



「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

## あなたもチャレンジ！ 家庭菜園

## ホウレンソウのトンネル栽培 冬の寒さでおいしきアツプ

あなたもチャレンジ！ 家庭菜園

園芸研究家  
成松 次郎

ホウレンソウの生育適温は、15〜20度で冷涼な気候を好みます。耐寒性は強いですが暑さには弱く、25度以上になると生育が衰えます。冬取りは栄養価が高く、甘味も増し最もおいしいです。中間地から暖地の作型となります。

「品種」秋〜冬まきでは、寒さに強く、低温でもよく伸びる品種「オシリス」(サカタのタネ)、「伸兵衛」(タキイ種苗)など、特徴のある品種では、葉に切り込みの多い「冬ごのみ」(タキイ種苗)、寒締め栽培向きには葉に縮みのある「雪美菜02」(雪印種苗)などがあります。

「畑の準備」ホウレンソウは酸性土を嫌うため、事前に1平方m当たり苦土石灰150gを畑全体に散布して、よく耕しておきます。次に、1平方m当たり化成肥料(NPK各成分10%)200gと堆肥2kgを土とよく混和しておきます(図1)。

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

「畝立て」幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の

※関東南部以西の平たん地を基準とする。



# JAはくい女性部 フレッシュカレッジ 調理実演会

**11月23日(水・祝)**  
**13:30~15:30**  
会場/さくらドーム21 調理実習室  
(宝達志水町子浦そ18番地1)



**料理研究家**  
日本茶アドバイザー

## 寺田真二郎さん

石川テレビ【リフレッシュ】出演中!  
説得力のある"時短テクニック"や"驚きのアイデア"を  
活かしたレシピが幅広い世代に好評の  
今注目の若手料理研究家。

- 講演** 「家庭でできる食品ロス削減について」
- 調理** 地元農産物を使ったおもてなし料理
- 実演** にも使える驚きのレシピ(3品予定)

**参加費：1,000円**  
**予約制先着40名**

**対象** JAはくい管内にお住いの  
20代~50代の方

**参加者には** 記念品をプレゼント!  
【申込期日】

**申込方法**  **10月31日(月)まで!**

こちらのQRコードを読み込みお申し込みください。  
【お問合せ先】CS推進室 ☎26-3301

## 女性部

### 和菓子作り体験

JAはくい女性部は9月10日、お菓子処佐吉庵の岡崎欣浩さんを講師に迎え、和菓子づくり教室を開きました。若い世代(フレッシュミズ)を対象に、親子など20人が参加。中秋の名月にあわせて、ウサギとコスモスの上生菓子作りを体験しました。



可愛く仕上がりました(JA本店)



フレイル予防の体験を試す  
部会員ら(JA本店)

## 「家の光」 SDGs学習会

JA女性部は、9月29日、SDGsの学習会を開催し、計44人が参加しました。SDGsとは、「持続可能な開発目標」の略称で、貧困や気候変動、差別などの解決に向けた世界共通の挑戦です。  
当日は「家の光」をテキストに、JA女性部が取り組む食農教育や仲間づくりが、どのように貢献しているか理解を深めました。また、フレイル(心身の虚弱化)予防のための体験を教わりました。